Creative Enzymes®

ヒト由来組換え組織トランスグルタミナーゼ

Cat. No. NATE-0921

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	セリアック病は、さまざまな重症度の腸の病□を特徴とする腸疾患です。組織型トランスグルタミナーゼ（tTG）は、セリアック病の主要な自己抗原であると考えられており、□□する自己抗体は抗グリアジン抗体よりも高い感度と特異性を示します。現在、非常に純度の高い再組換えヒトtTGが、従来使用されていたモルモット由来のtTGフラクションの代わりに利用可能です。組織型トランスグルタミナーゼ抗原は、取り扱いを改善するために特別に修正されています：活性部位のアミノ酸の交換により、酵素のタンパク質架橋活性が排除され、同時に天然の三次元構造と酵素の二次GTPアーゼ活性が維持されます。このエンジニアリングにより、tTG抗原と宿主細胞タンパク質の可□で不明瞭な共有結合集□が存在しないため、抗原調製物の再現性のある特性が保証されます。
用途	ウエスタンブロット
別名	プロテイン-グルタミン ガンマ-グルタミルトランスフェラーゼ 2; EC 2.3.2.13; 組織トランスグルタミナーゼ; TGase C; TGC; TG(C); トランスグルタミナーゼ-2; TGase-H; TG2; TGM2

製品情報

種	人間
由来	Sf9 昆虫細胞
EC番号	EC 2.3.2.13
分子量	78,018 Da
純度	SDS-PAGEによって決定された95%以上。
濃度	0.6-1.4 μg/ml
緩衝液	TGM2は、16mM HEPESバッファーpH-8.0、320mM NaCl、および20%グリセロールで供給されます。
機能	1. IgAおよびIgG型ヒト自己抗体を結合します。 2. 標準ELISAテスト（陽性/陰性血清パネルのチェッカーボード分析、イムノドットテスト）。

保管・発送情報

安定性	2-4週間以内に全バイアルを使用する場合は、4°Cで保管してください。長期間保存する場合は、-20°Cで冷凍してください。複数回の凍結-解凍サイクルを避けてください。